

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

毎週日曜発行
2020 3/22

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



東日本大震災のこと覚えてる？ 津波で被災した宮城県七ヶ浜町の高校生のお兄さん、お姉さんが震災の紙芝居を作り、大事なメッセージと一緒に伝えているよ。

④完 高校生の伝承活動

きずなFプロジェクトは、七ヶ浜町向洋中を卒業した高校生15人でつくるグループ。町は震災で大きな被害を受け、メンバーが通った小学校も近くまで津波が押し寄せました。住民に被災体験を聞くなど、途中で震災学習に取り組んだ生徒が伝承活動が続けています。



「震災を知らない子どもが命を守るよう経験

もが命を守るよう経験

東日本大震災

あの日から9年

紙芝居体験分かりやすく

元向洋中教員と共に紙芝居について話し合う伊藤さん（右から3人目）ら、きずなFプロジェクトのメンバー宮城県七ヶ浜町のきずなハウス



陸前高田市で被災し、向洋中に入学したメンバーの体験を基にしました。グループで話し合い、子どもが理解できる言葉でシナリオを書いて絵を描き、1年かけて完成させました。



昨年7月の同町松ヶ浜小を皮切りに、町内外の小学校や幼稚園などで10

回ほど上演。松ヶ浜小では、震災時の伊藤さんと同じ小学2年生が対象でした。

児童から「悲しい話だけど、震災のことが分かってよかった」などの感想が寄せられました。「真剣に聞いてくれてうれしかった。年が近いと伝わりやすい良さがあると思います」と伊藤さん。

紙芝居は最後に「大切な誰かを失った時、後悔しても遅いです。自分の家族は一つしかありません。伝えたいことはその時に伝えて。1分1秒を大切にしてください」と訴えます。伊藤さんは「いつものように暮らせるのは当たり前じゃない。震災学習で学んだことを、仲間と一緒に伝えたい」と語りました。

身近な人と話すこと、誰かに伝えることが、震災を忘れないための第一歩かもしれないね。

今週の注目ニュース

◇25日（水）電気記念日

明治政府が建てた電信中央局の開局祝賀会が1878年、東京の工部大学校講堂で開かれ、イギリス人教師が日本初の「アーク灯」をつけたので、この日が電気記念日になったんだ。

◇26日（木）聖火リレーがスタート（福島県）

ギリシャから到着した東京五輪の聖火は、東日本大震災で被災した宮城、岩手、福島で「復興の火」として展示された後、福島県のサッカー施設「Jヴィレッジ」（楡葉町、広野町）をスタートする計画だよ。

きよしの紙面

2

ニコ☆プチ

3

3分チャレンジ

4・5

いいね 小学校

6

英語

7

かほくワークシート

8

書ポコン中